



平成 28 年 2 月号



# 概 況

---

最近の県内経済は、個人消費の一部に弱さがみられるものの持ち直し傾向は継続している。

まず個人消費関連では、百貨店・スーパー販売は再びプラスとなった。自動車販売は、登録車、届出車合計で4ヶ月連続のマイナスとなった。

住宅建設は、貸家が大幅に増加し3ヶ月ぶりのプラスとなった。公共投資は、独立行政法人等、市町村が減少したものの、国、県が増加し、再びプラスとなった。

生産関連では、鉱工業生産指数(季節調整値)は前月比2.3%低下の105.7と、再びマイナスとなった。県産米2銘柄は前年同月比で大幅上昇した。27年県産リンゴ販売は、県外出荷量、消費地市場価格ともに前年を上回り、県外市場販売額は前年比17.4%と大幅に増加した。八戸港の水揚げは、数量、金額ともに増加した。

雇用情勢は、有効求人倍率が前月比で0.01ポイント低下の0.97倍とやや低下したものの、昭和38年の集計開始以来、過去2番目に高い数値であり、改善傾向は継続している。

**○個人消費** 12月の**百貨店・スーパー販売額**(速報ベース、店舗調整後)は前年同月比1.6%増となった。業態別では百貨店が同0.2%減、スーパーは同2.1%増となった。12月の**自動車販売台数**は登録車、届出車(軽自動車)合計が前年同月比29.9%減の3,627台と4ヶ月連続のマイナスとなった。登録車が同23.3%増と再びプラス、届出車は同55.1%減と4ヶ月連続のマイナスとなった。

**○住宅投資** 12月の**新設住宅着工戸数**は全体で前年同月比4.8%増となり3ヶ月ぶりのプラスとなった。持家が同8.9%減、貸家が同20.7%増、分譲住宅が同12.5%増となった。

**○公共投資** 12月の**公共工事請負額**は、全体で前年同月比5.2%増の58億9,200万円と再びプラスとなった。国が同107.4%増、独立行政法人等が同58.1%減、県が同39.0%増、市町村が同18.1%減となった。

**○一次産業** 農林水産省の発表によると、27年県産米の相対取引価格(27年12月)は「つがるロマン」が前年同月比21.1%上昇、「まっしぐら」が同18.4%上昇となった。

**27年県産リンゴ販売**は、12月の県外出荷量が前年同月比6.4%増、消費地市場価格が同9.2%上昇し、県外市場販売額は同17.4%増となった。12月の**八戸港水揚げ**は、数量が前年同月比13.2%増、金額は同8.5%増となった。

**○生産活動** 11月の**鉱工業生産指数**(季節調整値)は、電気機械、業務用機械、食料品などが低下し、前月比2.3%低下の105.7と再びマイナスとなった。原指数では鉄鋼、輸送機械、食料品などが上昇し、前年同月比4.7%上昇の109.0と3ヶ月ぶりにプラスとなった。

# 一 次 産 業

## 米

### ☆ 「つがるロマン」、「まっしぐら」とも前年同月比大幅上昇

農林水産省が発表した「平成 27 産米の相対取引価格（平成 27 年 12 月）」によると、県産米の相対取引価格（玄米 60kg 当たり税込み価格）は「つがるロマン」が前年同月比 21.1%上昇の 1 万 1,595 円、「まっしぐら」は同 18.4%上昇の 1 万 1,510 円となった。

公表された 97 銘柄の平均価格は 1 万 3,245 円となり、前月比 0.2%上昇、前年同月比 9.1%上昇となった。価格が最も高かったのは新潟「コシヒカリ（魚沼）」で 2 万 290 円であった。前年同月比でみると、比較可能な 85 銘柄のうち 80 銘柄が上昇し、そのうち上昇幅が大きかったのは、栃木「あさひの夢」（36.3%）、群馬「あさひの夢」（32.9%）などであった。

平成27年産米（東北・北海道主要銘柄）の相対取引価格の推移

（単位：円/玄米60kg税込）

産地	品種	27年9月	27年10月	27年11月	27年12月	前月比	26年12月	前年同月比
青森	つがるロマン	11,697	11,556	11,992	11,595	-3.3	9,571	21.1
	まっしぐら	11,210	11,323	11,715	11,510	-1.7	9,718	18.4
岩手	ひとめぼれ	13,004	12,954	12,855	12,841	-0.1	11,836	8.5
宮城	ひとめぼれ	12,559	12,782	13,168	13,207	0.3	12,041	9.7
秋田	あきたこまち	12,819	12,805	12,918	13,027	0.8	11,868	9.8
山形	つや姫	18,074	17,946	17,972	17,972	0.0	16,722	7.5
北海道	ななつぼし	13,356	12,995	13,178	13,017	-1.2	12,555	3.7
北海道	ゆめぴりか	17,080	16,447	16,469	15,073	-8.5	16,687	-9.7
全銘柄平均価格		13,178	13,116	13,223	13,245	0.2	12,142	9.1

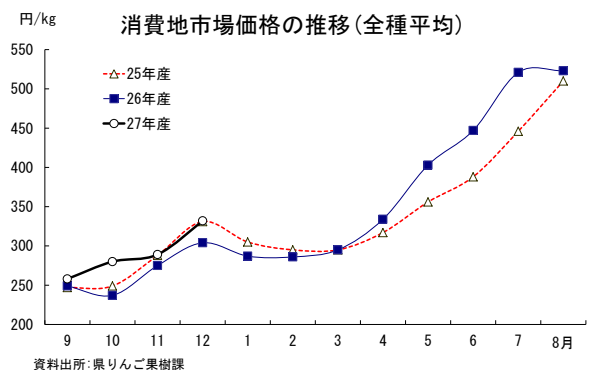
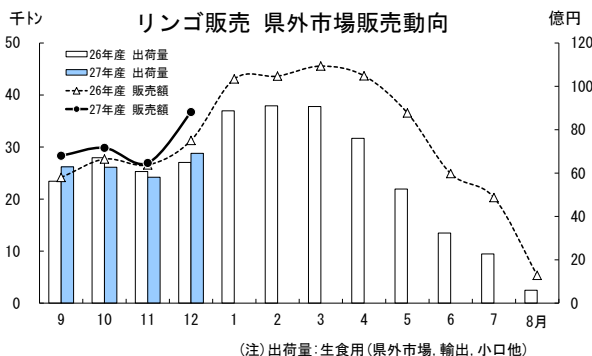
相対取引価格は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格（運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格）を加重平均したものである。  
資料出所：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

## りんご

### ☆ 県外市場販売額、前年同月比 17.4%増

27 年県産りんご販売、12 月の県外出荷量は前年同月比 6.4%増の 2 万 8,792 トンとなった。これは前 3 ヶ年の 12 月平均出荷量を 16.1%上回る水準である。価格面をみると、産地価格は前年同月比 26.2%上昇、前 3 ヶ年比較では 18.2%上昇の 188 円/kg となった。一方、消費地市場価格は「ジョナゴールド」が前年同月比 9.8%上昇の 324 円/kg、主力の「ふじ」が同 8.6%上昇の 327 円/kg、合計では同 9.2%上昇、前 3 ヶ年比較で同 8.9%上昇の 332 円/kg となった。この結果、県外市場販売額は前年同月比 17.4%増、前 3 ヶ年比較で同 29.3%増の 88 億 1,200 万円となった。

平成 27 年産県産りんごの消費地市場価格は、贈答需要に向けた引き合いが強く、価格は高値基調で推移した。

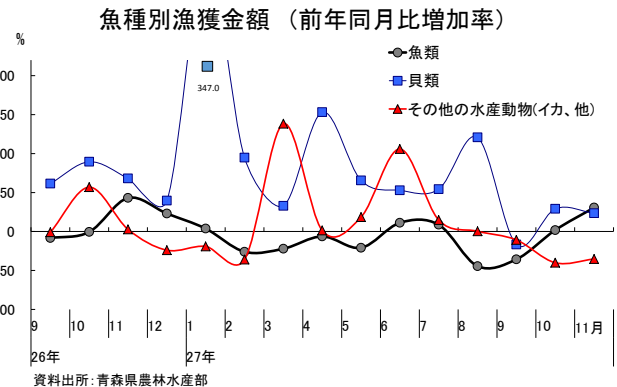
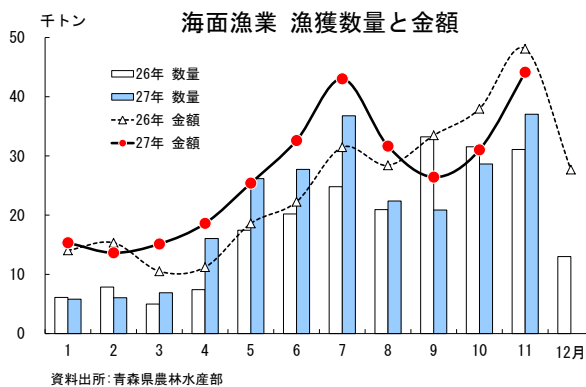


## 海面漁業

### ☆ 11月の海面漁業、漁獲数量増加、漁獲金額減少

11月の本県海面漁業は、漁獲数量が前年同月比19.1%増の3万7,035トン、漁獲金額が同8.2%減の70億6,336万円となった。これは前年同月に比べ、サバ、ブリ等の漁獲数量が増加したものの、平均単価の高いスルメイカ（近海・生、船凍）等の漁獲数量が減少したことなどによる。

魚種別にみると、「魚類」は、サバ、ブリが大幅に増加し、数量が前年同月比85.0%増の2万8,330トン、金額は同30.7%増の37億3,055万円となった。「貝類」はホタテガイ（新貝）の水揚げが大幅に増加し、数量が同18.2%増の796トン、金額は同23.4%増の3億2,983万円となった。「その他の水産動物」はスルメイカ（近海・生、船凍）が大幅に減少し、数量が同52.7%減の6,838トン、金額は同35.3%減の29億407万円となった。



## 八戸港水揚げ

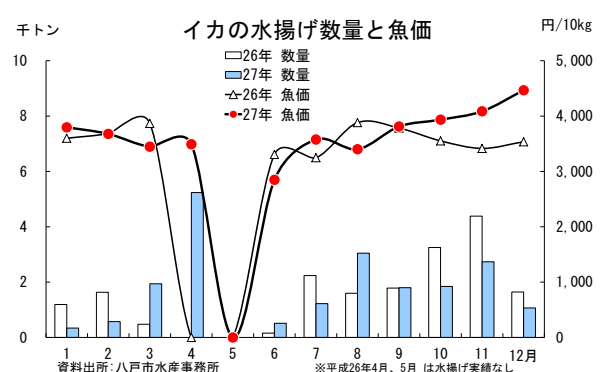
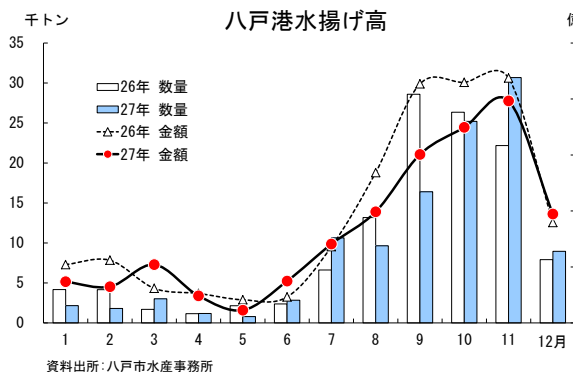
### ☆ 12月水揚げ、数量13.2%増、金額8.5%増

12月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比13.2%増の8,958トン、金額は同8.5%増の19億4,669万円となった。

イカ釣り漁は、船凍スルメイカ、前沖での近海生スルメイカともに減少し、数量が前年同月比34.9%減の1,069トン、金額は同17.8%減の4億7,749万円となった。

大中型旋網漁は、マサバが豊漁だったことから、数量が同84.8%増の4,616トン、金額は同25.1%増の3億8,332万円となった。

機船底引き網漁は、前沖のスルメイカ漁などを主体に操業したが、シケの影響などもあり数量が前年同月比13.9%減の1,352トンと低調だったものの、金額は不漁による単価上昇から同3.6%増の4億8,115万円と前年を上回った。



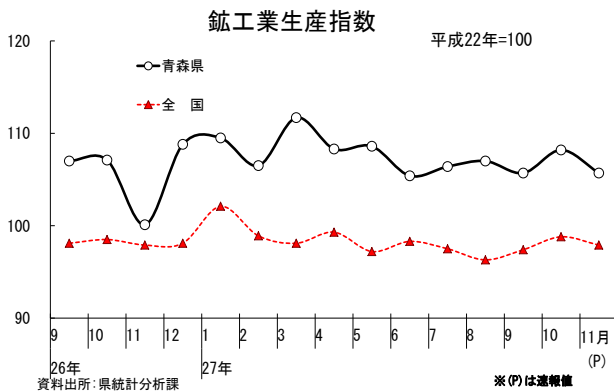
## 二次産業

### 鉱工業生産

☆ 前月比 2.3%低下、再びマイナス

11月の鉱工業生産指数(季節調整済速報値、平成22年=100)は前月比2.3%低下の105.7と再びマイナスとなった。主要6業種をみると、電子部品・デバイスが同4.5%と上昇したものの、電気機械が同25.2%、業務用機械が同8.1%、食料品が同5.4%、鉄鋼が同4.2%、パルプ・紙が同1.8%それぞれ低下した。このほかでは、生産用機械が同22.7%低下した。

原指数で前年同月と比較すると、生産用機械、業務用機械、電子部品・デバイスなどが低下したものの、鉄鋼、輸送機械、食料品などが上昇し、同4.7%上昇の109.0と3ヶ月ぶりに前年同月を上回った。



業種別生産指数(平成27年11月)

業種 ( )内は一万分比ウエート	季節調整済指数		原指数	
	平成22年=100	前月比(%)	平成22年=100	前年同月比(%)
鉱工業 (10,000.0)	105.7	△ 2.3	109.0	4.7
食料品 (2,410.0)	103.3	△ 5.4	116.0	6.6
鉄鋼 (1,200.9)	117.3	△ 4.2	112.7	36.4
電子部品・デバイス (1,048.2)	141.4	4.5	140.1	△ 7.5
業務用機械 (1,005.1)	97.5	△ 8.1	86.9	△ 18.2
パルプ・紙 (722.3)	92.5	△ 1.8	97.1	19.6
電気機械 (429.2)	77.9	△ 25.2	80.2	△ 4.9

資料出所: 県統計分析課

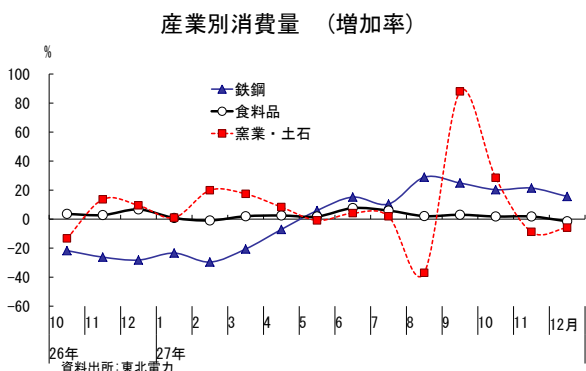
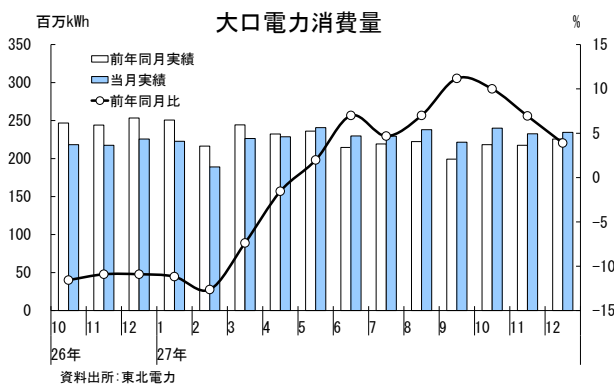
### 大口電力

☆ 前年同月比 3.9%増、8ヶ月連続のプラス

12月の県内大口電力消費量は、前年同月比3.9%増の2億3,455万kWhとなった。うち製造業は同6.7%増の1億6,862万kWhとなった。

製造業の大口電力消費量を主要業種別にみると、消費ウエートの高い鉄鋼が同15.6%増となったほか、非鉄金属が同5.5%増、化学が同3.3%増などとなった。一方、窯業・土石が同5.9%減、機械が同5.8%減、紙・パルプが同3.1%減、食料品が同1.5%減などとなった。

当月の県内大口電力消費量は、製造業で、消費ウエートの高い鉄鋼が、前年の定期補修等に伴う生産設備の稼働減からの反動増等がみられたほか、非鉄金属などが前年実績を上回り、全体では8ヶ月連続のプラスとなった。



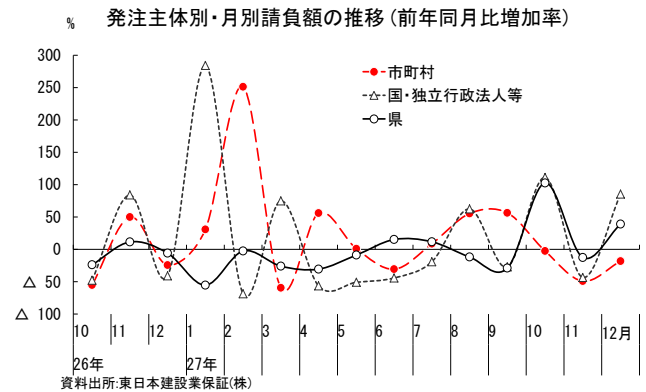
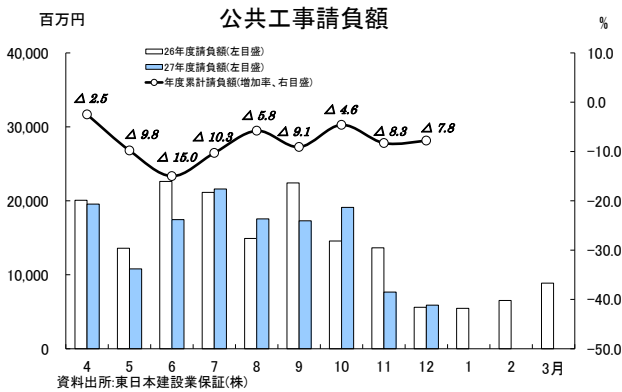
## 公共工事

### ☆ 前年同月比 5.2%増、再びプラス

12月の東日本建設業保証（株）の保証取扱いによる公共工事請負額は、前年同月比 5.2%増の 58 億 9,200 万円と、再びプラスとなった。

当月の請負額は、国が農林水産省で減少したものの、国土交通省、防衛省で大幅に増加し同 107.4%増の 10 億 9,900 万円となった。独立行政法人等は国立大学法人で減少し、同 58.1%減の 3,400 万円となった。県は、県土整備部、農林水産部で大幅に増加し、同 39.0%増の 26 億 7,300 万円となった。市町村は、南部町、つがる市、むつ市、六ヶ所村などで増加したものの、蓬田村、三戸町、青森市、弘前市などで減少し、全体では同 18.1%減の 20 億 3,200 万円となった。

当月は、国、県の大幅な増加が全体を押し上げ、前年実績を上回った。



## 住宅着工

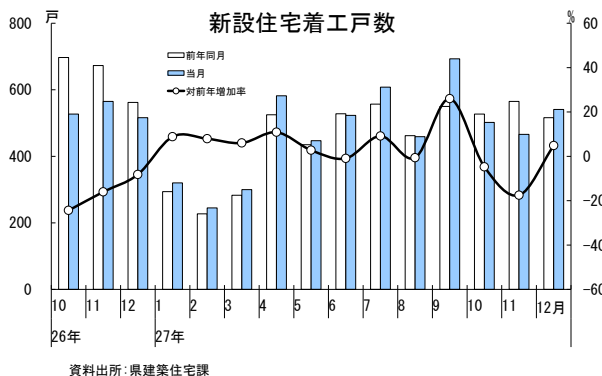
### ☆ 前年同月比 4.8%増、3ヶ月ぶりのプラス

12月の県内新設住宅着工戸数は、前年同月比 4.8%増の 541 戸と 3ヶ月ぶりのプラスとなった。利用関係別では、持家が同 8.9%減、貸家が同 20.7%増、分譲住宅が同 12.5%増となった。

地域別にみると、全体では、青森市、十和田市、黒石市、五所川原市、むつ市で減少したものの、弘前市、八戸市、三沢市、つがる市、平川市、郡部で増加した。

持家は、八戸市、黒石市で増加したものの、青森市、十和田市、郡部などで減少した。貸家は、青森市、八戸市、黒石市、五所川原市で減少したものの、弘前市、三沢市、つがる市などで増加した。

平成 27 年の年間着工戸数は前年比 4.0%（217 戸）増の 5,686 戸となった。利用関係別では持家が同 1.5%減、貸家が同 5.8%増、給与住宅が同 171.4%増となり、分譲住宅は同 44.4%増となった。



利用関係別戸数

(単位: 戸, %)

	27年 12月	26年 12月	前年 同月比
持家	235	258	△ 8.9
貸家	251	208	20.7
給与住宅	1	2	△ 50.0
分譲住宅	54	48	12.5
総戸数	541	516	4.8

# 三 次 産 業

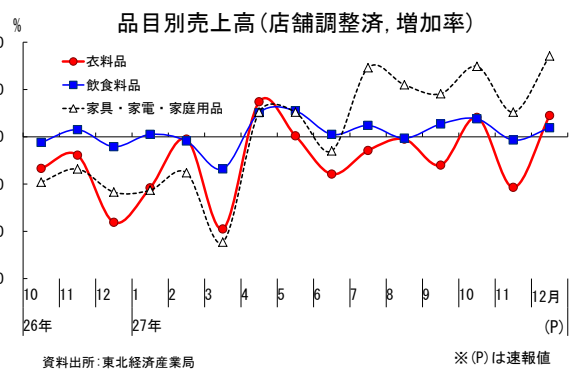
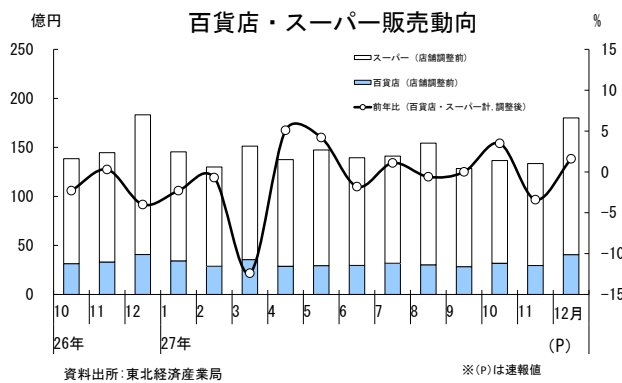
## 百貨店・スーパー販売

☆ 前年同月比 1.6%増、再びプラス

12月の県内百貨店・スーパー販売額(速報ベース、店舗調整後)は、前年同月比 1.6%増と再びプラスとなった。業態別では百貨店が同 0.2%減、スーパーは同 2.1%増となった。

品目別では、衣料品が同 4.5%増、ウエートの高い飲食料品が同 1.9%増、家具・家電・家庭用品が同 17.1%増となった。衣料品は、暖冬でコートなど重衣料の需要が少なかったものの、婦人服の春物が順調な売れ行きとなった。飲食料品は、精肉、鮮魚、野菜、惣菜が好調で、お歳暮商戦も堅調に推移した。家具・家電・家庭用品は、家具がベッドやソファなどで堅調な動きをみせた。家電製品が 4K など大型サイズのテレビや、高価格帯の高性能な洗濯機や冷蔵庫などに動きがみられた。

今月は、暖冬のため重衣料が振るわなかったものの婦人服の一部に動きがみられ、家具・家電・家庭用品では高機能家電が牽引し、飲食料品も好調で、全体では前年同月を上回った。

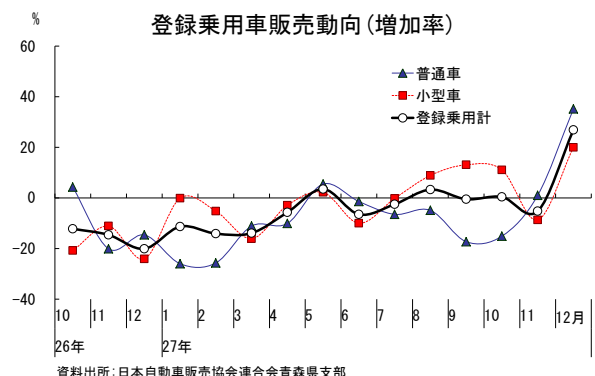
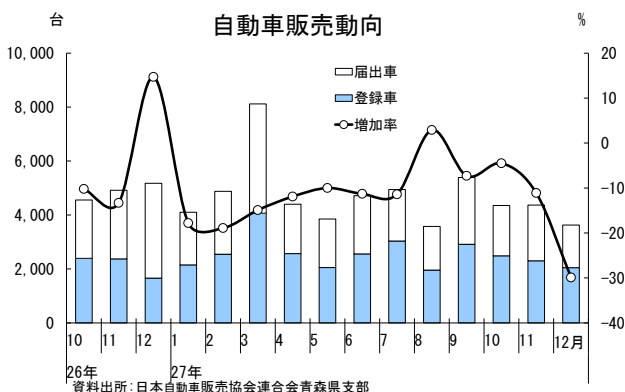


## 自動車販売

☆ 前年同月比 29.9%減、4ヶ月連続のマイナス

12月の自動車販売台数は、登録車、届出車(軽自動車)合計で前年同月比 29.9%減の 3,627 台と大幅に落ち込み 4ヶ月連続のマイナスとなった。内訳別にみると、登録車は普通乗用車が同 35.2%増、小型乗用車が同 20.0%増、貨物車が同 20.3%増となり、登録車合計では同 23.3%増の 2,049 台と再びプラスとなった。届出車は乗用車が同 58.2%減、貨物車が同 44.5%減とそれぞれ大幅に減少し、届出車合計では同 55.1%減の 1,578 台と 4ヶ月連続のマイナスとなった。届出車を含む乗用車については、登録乗用車合計が同 26.9%増となったものの、全体では同 31.0%減と 4ヶ月連続のマイナスとなった。

当月の自動車販売は、登録車が好調だったものの、届出車が大幅に減少し、全体でも大きく落ち込み 4ヶ月連続のマイナスとなった。



# 物価・雇用・金融

## 消費者物価指数

☆ 前月比 0.2%下落、前年同月比 0.3%下落の 102.9

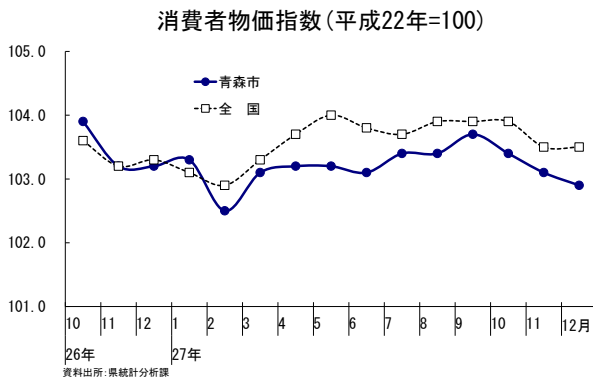
12月の青森市の消費者物価指数(平成22年=100)は前月比0.2%下落、前年同月比0.3%下落の102.9となった。主要費目別に前月と比べると、「被服及び履物」が衣料や履物類などの値下がりにより3.0%低下したほか、「光熱・水道」が灯油代の値下がりなどにより1.5%低下した。一方、「食料」が魚介類などの値上がりにより、「諸雑費」が身の回り用品などの値上がりにより、それぞれ0.4%上昇した。

前年同月との比較では、「光熱・水道」(△12.9%)、「交通・通信」(△1.9%)などの下落が目立った。

なお「生鮮食品を除く総合指数」は、前月比0.2%下落、前年同月比0.6%下落の102.2となった。

費目別指数の動き(平成27年12月)

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	102.9	△ 0.2	△ 0.3
食料	106.0	0.4	2.3
住居	100.4	0.1	1.2
光熱・水道	104.3	△ 1.5	△ 12.9
家具・家事用品	93.6	△ 0.6	4.7
被服及び履物	103.6	△ 3.0	△ 1.0
保健医療	101.1	0.3	2.4
交通・通信	102.9	△ 0.4	△ 1.9
教育	100.9	0.0	0.9
教養娯楽	98.4	0.2	3.0
諸雑費	110.0	0.4	1.4



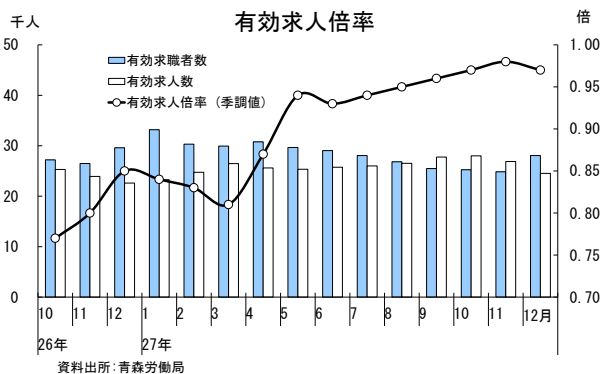
資料出所: 県統計分析課

## 雇用動向

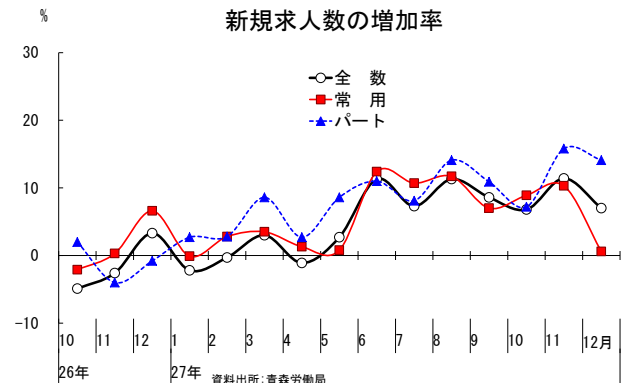
☆ 有効求人倍率、0.01ポイント低下の0.97倍、高水準は継続

12月の求人・求職動向は、有効求人数が前年同月比8.4%増の2万4,516人、有効求職者数は同5.2%減の2万8,068人となった。この結果、有効求人倍率(季節調整値)は前月比0.01ポイント低下の0.97倍となった。新規求人の動きをみると、常用求人数が前年同月比0.6%増、臨時・季節求人数が同15.6%増、パート求人数が同14.1%増となり、全数では同7.0%増の8,692人となった。主要産業別の新規求人動向を前年同月比で見ると、建設業、教育、学習支援業などで減少したものの、卸売・小売業、医療、福祉、運輸業、郵便業、宿泊業、飲食サービス業などで増加した。

県内の雇用状況は、有効求人倍率が先月比でやや低下したものの、昭和38年の集計開始以来過去2番目に高い数値であり、雇用情勢の改善基調は継続している。



資料出所: 青森労働局



資料出所: 青森労働局



## 企業倒産

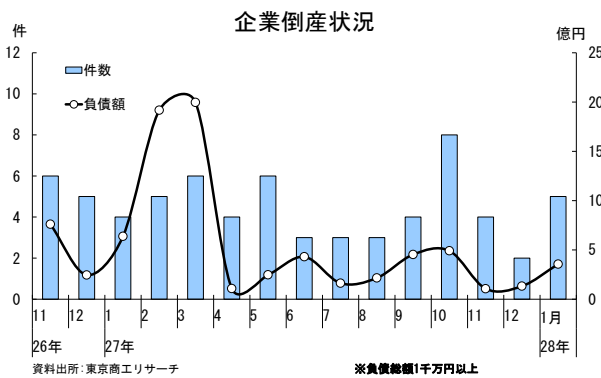
### ☆ 前年同月比、倒産件数1件増、負債総額大幅減少

1月の県内企業倒産は、件数が前年同月比で1件増の5件、負債総額は同2億8,100万円減の3億5,600万円となった。前月比では件数が3件増、負債総額は2億2,400万円増となった。業種別では、小売業が2件、建設業、製造業、卸売業が各1件となった。地域別では、青森市2件、弘前市、むつ市、南津軽郡にて各1件の発生となった。原因別では、販売不振が4件、既往のシワ寄せが1件となった。

県内の企業倒産件数は、引き続き一桁台と小康状態が続いているものの、前年同月比で1件の増加、前月比では3件の増加となった。負債総額は、1億円以上の発生が1件あり、前年同月比で44.1%の減少、前月比では169.7%の増加となった。

単月での従業員被害者数は19名となった。

業種別・原因別件数（平成28年1月）



業種	件数	原因	件数
一次産業・鉱業		放漫経営	
建設業	1	過小資本	
製造業	1	他社倒産の余波	
卸売業	1	既往のシワ寄せ	1
小売業	2	信用低下	
金融・保険業		販売不振	4
不動産業		売掛金回収難	
運輸業		在庫状況悪化	
情報通信業		設備投資過大	
サービス業 他		その他	
合計	5	合計	5

資料出所：東京商工リサーチ（負債総額1千万円以上）

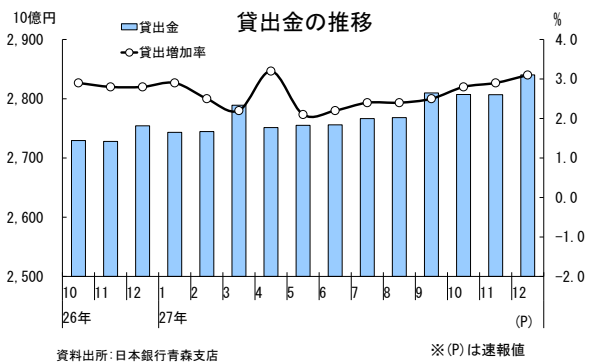
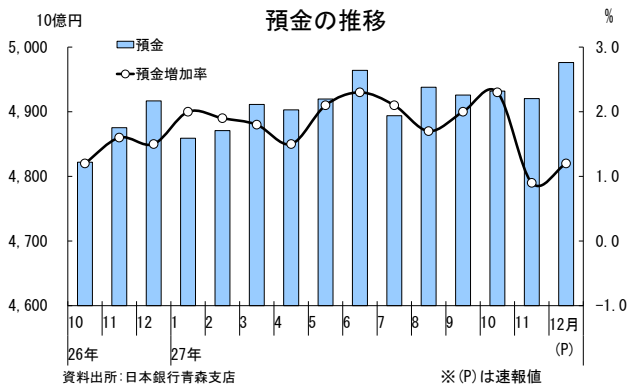
## 金融動向

### ☆ 預金、貸出金とも32ヶ月連続のプラス

12月末の県内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の預金・貸出金残高(速報値)は、実質預金が前年同月比1.2%増の4兆9,762億円、貸出金は同3.1%増の2兆8,402億円とそれぞれ増加した。

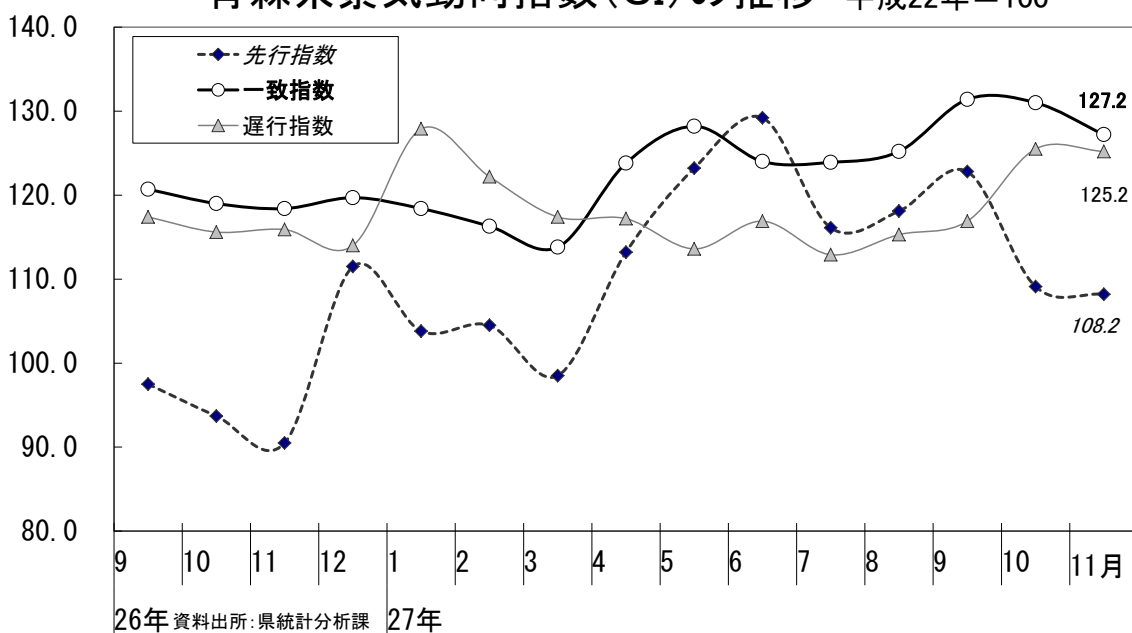
預金は法人預金、個人預金が前年を上回った。預金全体のプラス幅は前月比0.3ポイント増加し、32ヶ月連続のプラスとなった。

一方、貸出金は、法人、個人、地公体向けのいずれもが前年を上回った。貸出金全体のプラス幅は前月比0.2ポイント増加し、32ヶ月連続のプラスとなった。



# 青森県景気動向指数

青森県景気動向指数(CI)の推移 平成22年=100



## 一致指数 採用系列の寄与度

上段: 寄与度がプラスを○、マイナスを●で表示  
下段: 寄与度

採用系列名	27年 6月	7月	8月	9月	10月	11月
1. 大型小売店販売額(既存店)	● △ 2.24	○ 0.98	● △ 0.66	○ 0.17	○ 1.27	● △ 2.59
2. 旅行取扱高	○ 0.11	● △ 1.19	○ 0.43	○ 0.95	○ 0.11	○ 0.01
3. 鉱工業生産指数	● △ 0.99	○ 0.30	○ 0.18	● △ 0.42	○ 0.79	● △ 0.79
4. 大口電力使用量	○ 0.13	● △ 0.93	○ 1.11	○ 0.01	● △ 0.22	● △ 0.76
5. 有効求人倍率(全数)	● △ 1.38	○ 0.06	○ 0.04	○ 0.06	○ 0.06	○ 0.06
6. 輸入通関実績(八戸港)	○ 0.03	○ 0.18	○ 0.13	○ 1.91	○ 0.90	○ 0.46
7. 東北自動車道IC利用台数	○ 0.14	○ 0.46	○ 0.11	○ 3.50	● △ 3.27	● △ 0.25

資料出所: 県統計分析課

### ※ 景気動向指数 (C I : Composite Index) とは

1. 前月と比較した採用系列の変化量を合成し、基準年度を100として指数化したもので、景気に敏感な指標の量的な動きを合成した指標である。C Iには次の3指数がある。

- 先行指数・・・景気に先行して動くことから景気の動きの予測に利用
- 一致指数・・・景気とほぼ一致して動くことから景気の現状把握に利用
- 遅行指数・・・景気に遅れて動くことから事後的な確認に利用

2. C Iは景気変動の大きさ(景気の山の高さや谷の深さ)やテンポ(景気の拡張や後退の勢い)を測定する。C Iが上昇している時が景気の拡張期(好況)であり、低下している時が景気の後退期(不況)である。

## 国内景気

### ☆概況

国内景気は、このところ一部に弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。個人消費は総じてみれば底堅い動きとなっている。設備投資は、おおむね横ばい。輸出は弱含んでいる。貿易・サービス収支の赤字は、減少傾向。生産はこのところ横ばい。企業収益は改善している。業況判断は、おおむね横ばい。雇用情勢は改善している。消費者物価は、緩やかに上昇している。

### ☆百貨店・スーパーの動向（既存店ベース）

#### —前年同月比横ばい、百貨店同 0.3%増—

12月の百貨店・スーパー販売額は前年同月比横ばいとなった。業態別にみると、百貨店が同 0.3%増、スーパーは同 0.1%減となった。商品別にみると、衣料品が同 4.4%減、飲食料品が同 1.1%増、その他商品が同 1.6%増となった。

### ☆住宅建設

#### —再びマイナス、持家、分譲住宅減少—

12月の新設住宅着工戸数は、前年同月比 1.3%減の 7万 5,452 戸と再びマイナスとなった。利用関係別では、貸家が同 3.9%増と 2ヶ月連続の増加となったものの、持家が同 5.4%減と 8ヶ月ぶりに減少し、また分譲住宅も同 3.5%減と再び減少した。

### ☆企業倒産

#### —件数 9ヶ月ぶり、負債総額 2ヶ月連続、ともに増加—

12月の企業倒産は、件数が前年同月比 1.9%増の 699 件、負債総額は同 116.1%増の 3,854 億円となった。倒産件数は 9ヶ月ぶり、負債総額は 2ヶ月連続でそれぞれ増加した。12月では、件数が過去 20 年間で 2 番目に少ない水準だったものの、負債総額は 2015 年で最大規模だった。

### ☆為替動向

#### —1月末終値 120 円 62 銭—

1月の東京為替市場は前月末から大幅反発し 118 円台後半でスタート。上旬は原油安と日経平均株価の大幅下落などから約 4ヶ月ぶりに 117 円台まで円高が進んだ。中旬は中国・上海株式相場と日経平均株価の大幅下落などから 116 円台まで円高が進んだ。下旬は日銀のマイナス金利導入決定で日米金利差が拡大するとの思惑などから 121 円 49 銭まで円安が進んだ。月末終値は 120 円 62 銭。

### ☆鉱工業生産指数

#### —前月比 1.4%低下、2ヶ月連続の低下—

12月の鉱工業生産指数は前月比 1.4%低下の 96.5(季節調整値)と 2ヶ月連続で低下した。窯業・土石、情報・通信、化学(除、医薬品)などが上昇し、はん用・生産用・業務用機械、電子部品・デバイス、輸送機械などが低下した。1月は、はん用・生産用・業務用機械、輸送機械、情報通信機械などの上昇により前月比 7.6%上昇を予測。

### ☆新車販売（除く軽自動車）

#### —前年同月比 0.2%増、4ヶ月連続のプラス—

1月の国内新車販売は前年同月比 0.2%増の 23 万 7,661 台と 4ヶ月連続のプラスとなった。乗用車が同 1.3%増、貨物車は同 8.7%減となった。乗用車は普通乗用車が同 22.7%増と 3ヶ月連続のプラス、小型乗用車は同 17.2%減と 3ヶ月連続のマイナスとなった。

### ☆完全失業率

#### —前月と同率の 3.3% —

12月の完全失業率は前月と同率の 3.3%となった。完全失業者数は前年同月比 6 万人減の 204 万人となり、67ヶ月連続で減少した。求職理由別にみると、自己都合が前年同月と同数の 85 万人、勤め先や事業の都合が同 6 万人減の 38 万人などとなった。

### ☆消費者物価指数

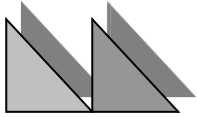
#### —前月比 0.1%下落の 103.5—

12月の全国消費者物価指数(2010年=100)は前月比 0.1%下落、前年同月比 0.2%上昇の 103.5 となった。前月に比べ、ガソリン安から交通・通信が下落した。生鮮食品を除く総合指数は、前月比 0.2%下落、前年同月比 0.1%上昇の 103.3 となった。

### ☆国際収支

#### —経常収支、18ヶ月連続で黒字—

12月の経常収支額は 9,607 億円と 18ヶ月連続で黒字となった。前年同月比では黒字幅が拡大。貿易・サービス収支が、貿易収支の黒字転化やサービス収支の赤字幅の縮小などにより黒字転化したことや、第二次所得収支が、赤字幅を縮小したことなどが寄与した。内訳は、第一次所得収支が 1 兆 122 億円の黒字、貿易・サービス収支が 174 億円の黒字、第二次所得収支が 689 億円の赤字。



# 今月の統計

## 平成27年の八戸港水揚げ高

八戸市水産事務所の調べによると、平成27年の八戸港の水揚げは、数量が前年比5.9%減の11万3,359トンとなった。また、金額は同14.2%減の196億9,899万円となり、再び200億円を下回った。大中型旋網で、小型サイズが多かったことによるサバの魚価の低下、中型底引き網で、シケの日が多く、スルメイカやスケトウダラが不漁だったことなどが影響した。

平成27年全国主要市場水揚げ状況

数量					金額				
順位	市場名	(トン)	前年順位	前年比(%)	順位	市場名	(億円)	前年順位	前年比(%)
1	銚子	219,262	1	△20.2	1	福岡	479	2	5.2
2	焼津	169,007	2	0.5	2	焼津	476	1	4.2
3	境港	126,208	5	9.1	3	長崎	350	3	8.2
4	長崎	118,866	7	11.4	4	根室	248	5	△13.5
5	釧路	114,977	3	△11.9	5	銚子	235	4	△25.7
6	八戸	113,359	4	5.9	6	気仙沼	213	10	24.7
7	石巻	103,905	9	7.0	7	三崎	207	7	3.9
8	枕崎	100,813	8	△2.2	8	境港	206	8	6.7
9	松浦	100,429	11	33.7	9	八戸	197	6	△14.2
10	福岡	82,494	12	10.5	10	下関	196	9	11.3

\*金額は税込み。数量はトン未満、金額は億円未満を四捨五入。

資料出所：八戸市水産事務所

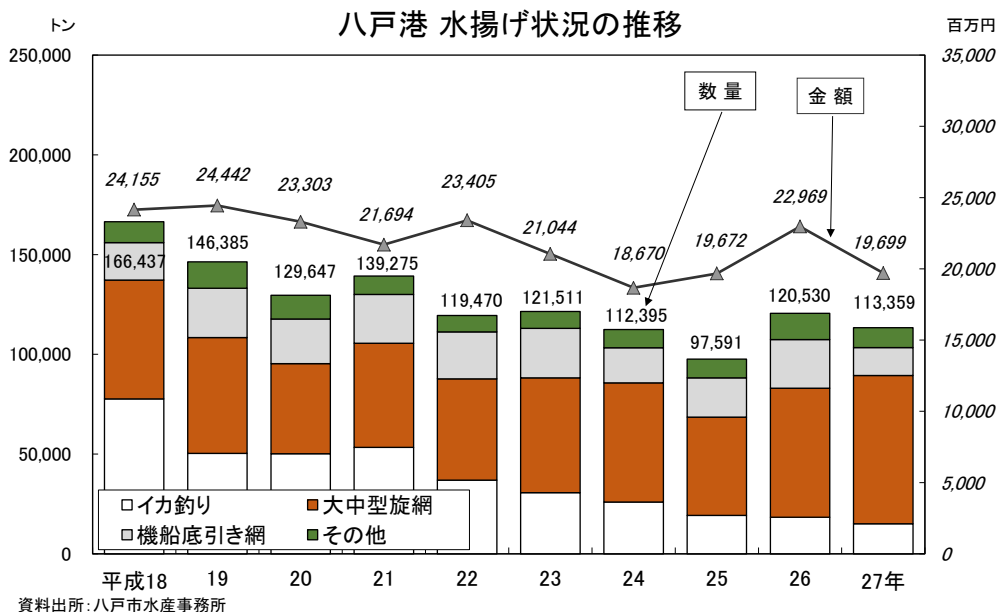
平成27年の全国の主要魚市場の水揚げランキング(速報値)は、数量が銚子、金額は福岡がトップとなった。八戸港は数量が前年の4位から6位へ2ランク低下、金額は6位から9位へ3ランク低下となった。

平成27年の八戸港の水揚げの内訳を主な漁業別にみると、主力のイカ釣り漁は、数量が前年比17.8%減の1万5,103トン、金額は同13.5%減の56億4,190万円となった。船凍アカイカが大幅に減少したほか、船凍スルメイカも伸び悩み、全体では前年を下回る水揚げとなった。

大中型旋網漁は、大型のマサバではなく小型サイズが多い漁となり、数量が前年比14.9%増の7万4,268トンとなったものの、金額は同9.1%減の69億1,757万円となった。

機船底引き網漁は、シケの日が多かったことなどが影響し、中型船のスルメイカやスケトウダラの漁獲が振るわず、数量が前年比42.5%減の1万4,042トン、金額は同34.5%減の39億7,152万円となった。

ここ10年の八戸港水揚げ状況の推移グラフからは、年ごとに多少の増減はあるにせよ、数量、金額ともに減少傾向にあることが窺われる。特にイカ釣り漁の退潮が懸念される。



県内

**5日 大間産マグロ、5年連続最高値**

東京築地市場の初競りで大間産クロマグロが、前年の大間産(451万円)の約3倍の1,400万円(重さ200kg、1kg当たり7万円)で競り落とされた。

**6日 平成27年県内企業倒産、件数・負債総額とも前年比減少**

東京商工リサーチ青森、八戸両支店が発表した平成27年県内企業倒産状況(負債額1千万円以上)によると、倒産件数は前年比14件減の52件、負債総額は同25億9,100万円減の68億9,400万円となった。

**7日 十和田「B-1グランプリ」経済波及効果、推計約21億円**

B-1グランプリ in 十和田実行委員会は、昨年10月3～4日に十和田市で開かれた、まちおこしの祭典「B-1グランプリ」の開催に伴う本県全体への経済波及効果は、推計で約21億3,000万円との試算を公表した。

**13日 平成37年青森国体、内内定**

日本体育協会は、本県を平成37年の第80回国民体育大会の開催申請書の提出順位了解県(内内定)とすることを決定した。本県での国体開催は昭和52年の第32回大会(あすなろ国体)以来、48年ぶりとなる。

**平成27年産県産リンゴ、産地在庫23万8,366トン**

県の発表によると、平成27年産県産リンゴの産地在庫数量(平成27年12月末現在)は、前年同期と同水準の23万8,366トンとなった。

**20日 TPP県が影響試算、生産減少最大82億円**

県は、環太平洋連携協定(TPP)が発効した場合の本県農林水産物への影響について、政府試算の計算方法により生産減少額が29億7,000万円から58億4,400万円になるとの試算結果を公表した。また、国が「影響なし」としたコメの生産減少額は県が独自に23億4,000万円と試算した。生産減少額の試算合計は53億1,000万円から81億8,400万円となる。

国内

**1日 平成27年の人口自然増減数推計、29万4,000人減少**

厚生労働省が発表した平成27年人口動態統計の年間推計によると、出生数100万8,000人に対し死亡数130万2,000人で、自然増減数は29万4,000人減少と推計した。また、婚姻件数は63万5,000組、離婚件数は22万5,000組と推計した。

**12日 街角景気、2ヶ月ぶりに改善**

内閣府が発表した11月の景気ウォッチャー調査によると、景気の実感を示す「街角景気」の現状判断指数は前月比2.6ポイント上昇の48.7となり、2ヶ月ぶりに改善した。

**平成27年11月の経常収支、1兆1,435億円の黒字**

財務省が発表した平成27年11月の国際収支速報によると、モノやサービス、配当など海外との総合的な取引を示す経常収支は1兆1,435億円の黒字となった。黒字は17ヶ月連続となる。

**14日 平成27年11月の機械受注、3ヶ月ぶりにマイナス**

内閣府が発表した平成27年11月の機械受注統計(季節調整値)は、民間設備投資の先行指標となる「船舶・電力を除く民需」の受注額が、前月比14.4%減の7,738億円と、3ヶ月ぶりにマイナスとなった。

**19日 平成27年の訪日外客数、過去最高の1,973万7千人**

日本政府観光局の発表によると、平成27年の訪日外客数(推計値)は、クルーズ船の寄港増加、航空路線の拡大、ビザの大幅緩和などから、前年比47.1%増の1,973万7千人と、過去最高となった。

# 全国の主要経済指標

年次及び月	日証券発行高 (平均残高・億円)	国内銀行勘定(月末)		国内銀行貸出約定 平均金利 (年利%)	企業倒産		鉱工業 生産指数 2010年=100	新設住宅 着工戸数 (戸)	公共工事 請負額 (億円)	百貨店・スー パー販売額 (億円)
		実質預金 (10億円)	貸出残高 (10億円)		件数 (件)	負債総額 (億円)				
2009 (H21)	764,627	569,486	428,567	1.655	15,480	69,301	86.5	788,410		197,758
2010 (H22)	771,516	578,485	420,417	1.551	13,321	71,608	100.0	813,126		195,791
2011 (H23)	792,805	598,688	425,858	1.452	12,734	35,929	97.2	834,117		195,933
2012 (H24)	809,455	613,690	433,824	1.364	12,124	38,346	97.8	882,797	128,456	195,916
2013 (H25)	835,998	640,633	449,134	1.258	10,855	27,823	97.0	980,025	150,536	197,774
2014 (H26)	866,132	660,844	461,147	1.180	9,731	18,741	99.0	892,261	165,257	201,973
2014 (H26) 10	865,271	646,936	453,499	1.198	800	1,241	98.5	79,171	14,688	16,065
11	870,990	656,658	456,260	1.195	736	1,155	97.9	78,364	10,689	17,286
12	901,074	660,844	461,147	1.180	686	1,783	98.1	76,416	12,488	21,558
2015 (H27) 1	901,357	658,252	458,485	1.179	721	1,681	102.1	67,713	8,722	17,215
2	886,755	661,723	459,627	1.173	692	1,512	98.9	67,552	9,940	14,986
3	892,520	676,336	465,464	1.158	859	2,236	98.1	69,887	20,662	17,150
4	895,381	673,889	460,756	1.157	748	1,928	99.3	75,617	7,535	16,080
5	899,665	678,655	462,447	1.153	724	1,278	97.2	71,720	7,278	16,928
6	896,714	678,820	464,740	1.141	824	1,269	98.3	88,118	15,503	16,412
7	906,796	674,054	465,907	1.137	787	1,201	97.5	78,263	14,321	17,057
8	910,354	673,470	465,905	1.135	632	979	96.3	80,255	13,760	16,057
9	913,980	676,940	470,471	1.125	673	2,709	97.4	77,872	15,225	15,114
10	917,792	673,540	468,785	1.125	742	1,062	98.8	77,153	14,020	16,072
11	924,879	679,175	471,254	1.121	711	1,417	97.9	79,697	10,480	16,501
12	955,628			1.110	699	3,854	P 96.5	75,452	11,811	20,925
前月比 %	3.3	0.8	0.5	-0.011% イント	-1.7	172.0	-1.4	-5.3	12.7	1.4
前年同月比%	6.1	3.4	3.3	-0.070% イント	1.9	116.1	-1.6	-1.3	-5.4	0.0
資料出所	日本銀行			東京商工リサーチ		経済産業省	国土交通省		経済産業省	

※企業倒産は負債額1千万円以上

※鉱工業生産指数の前年同月比及び年次は原指数による

※百貨店・スーパー販売額(2015.7大型小売店販売額を名称変更)の前月比は季節調整済増減率、前年同月比は既存店ベース増減率

年次及び月	新車登録 届出台数 (乗用車) (千台)	国内企業 物価指数 2010年=100	消費者 物価指数 2010年=100	景気動向 指数 (一致) 2010年=100	完全 失業率 (季節済) (%)	日経平均株価 (東証1部 225銘柄) (円)	国際収支 (経常) (億円)	外貨 準備高 (年々末) (100万ドル)	東京 外為相場 (月々平均) (円/US\$)	日経 商品指数 (月末42種) ('70年=100)
2009 (H21)	3,924	100.1	100.7	-	5.1	10,546.44	135,925	1,049,397	93.61	153,228
2010 (H22)	4,212	100.0	100.0	-	5.1	10,228.92	193,828	1,096,185	87.75	168,232
2011 (H23)	3,525	101.5	99.7	-	4.6	8,455.35	104,013	1,295,841	79.76	165,195
2012 (H24)	4,572	100.6	99.7	-	4.3	10,395.18	47,640	1,268,125	79.79	169,679
2013 (H25)	4,562	101.9	100.0	-	4.0	16,291.31	39,317	1,266,815	97.71	188,334
2014 (H26)	4,699	105.1	102.8	-	3.6	17,450.77	26,458	1,260,548	105.79	183,036
2014 (H26) 10	328	105.5	103.6	112.4	3.5	16,413.76	8,464	1,265,925	108.06	185,780
11	340	105.2	103.2	111.8	3.5	17,459.85	4,402	1,269,079	116.22	186,985
12	360	104.7	103.3	112.8	3.4	17,450.77	2,259	1,260,548	119.40	183,036
2015 (H27) 1	344	103.3	103.1	114.8	3.6	17,674.39	1,018	1,261,103	118.24	176,003
2	413	103.3	102.9	112.7	3.5	18,797.94	14,957	1,251,112	118.57	177,430
3	587	103.5	103.3	111.1	3.4	19,206.99	28,203	1,245,316	120.39	175,260
4	263	103.6	103.7	113.8	3.3	19,520.01	13,362	1,250,073	119.55	177,106
5	279	103.8	104.0	112.0	3.3	20,563.15	18,660	1,245,755	120.74	178,137
6	365	103.6	103.8	113.2	3.4	20,235.73	5,615	1,242,935	123.75	176,769
7	356	103.3	103.7	112.8	3.3	20,585.24	18,016	1,242,316	123.23	174,461
8	271	102.7	103.9	111.9	3.4	18,890.48	16,357	1,244,150	123.23	169,466
9	400	102.1	103.9	111.8	3.4	17,388.15	14,601	1,248,936	120.22	166,020
10	315	101.5	103.9	113.3	3.1	19,083.10	P 14,584	1,244,211	120.06	165,098
11	314	101.4	103.5	111.9	3.3	19,747.47	P 11,435	1,233,008	122.54	163,272
12	308	P 101.1	103.5	P 111.2	3.3	19,033.71	P 9,607	1,233,214	121.84	160,852
前月比%	-2.0	-0.3	-0.1	-0.7% イント	0.0% イント	-3.6	-	0.0	-0.6	-1.5
前年同月比%	-14.6	-3.6	0.2	-	0.0% イント	9.1	325.2	-2.2	2.0	-12.1
資料出所	自販協連合会	日本銀行	総務省	内閣府	総務省	日経新聞社	財務省	日本銀行	日経新聞社	

※日経平均株価は年末、月末の終値ベース

# 青森県の主要経済指標・各種統計 1

年次及び月	人口 (推計)		日銀券発行 (-) 還収超 額 (億円)	県内金融機関		企業倒産 (負債額1千万円以上)		毎月勤労統計調査	
	(人)	社会動態 (人) (転入-転出)		実質預金 (億円)	貸出残高 (億円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)	現金給与総額 (円)	総実労働時間 (時間)
2009 (H21)	1,392,976	-6,286	-639	45,183	27,167	102	40,856	254,409	154.2
2010 (H22)	1,380,834	-5,082	-1,062	45,718	26,717	79	28,409	259,231	154.6
2011 (H23)	1,371,440	-3,465	-693	47,408	26,781	73	34,830	254,469	154.8
2012 (H24)	1,361,053	-5,311	-1,287	47,633	26,780	57	52,781	253,142	155.0
2013 (H25)	1,347,650	-5,924	-1,762	48,252	27,298	53	11,199	257,302	154.4
2014 (H26)	1,333,729	-6,269	-1,957	49,114	27,890	66	9,485	254,237	155.1
2014 (H26) 10	1,321,895	-44	-299	48,219	27,295	5	1,322	220,790	157.8
11	1,321,130	-72	-189	48,753	27,280	6	760	221,752	154.9
12	1,320,329	-187	-662	49,168	27,543	5	245	412,640	154.0
2015 (H27) 1	1,319,297	-166	216	48,591	27,432	4	637	235,821	146.7
2	1,318,059	-419	-100	48,708	27,446	5	1,917	218,323	152.1
3	1,316,886	-5,353	-158	49,114	27,890	6	1,996	227,174	154.7
4	1,310,809	527	-271	49,030	27,513	4	108	223,277	159.6
5	1,310,743	-89	-7	49,198	27,552	6	247	217,872	147.9
6	1,309,993	-114	-243	49,641	27,560	3	430	334,174	160.5
7	1,309,272	-100	-168	48,939	27,665	3	162	263,587	160.7
8	1,308,552	-160	-184	49,379	27,681	3	215	229,076	150.1
9	1,307,723	-101	-210	49,258	28,098	4	453	214,820	155.1
10	1,307,030	-28	-296	49,320	28,072	8	491	215,638	157.1
11	1,306,228	-74	-240	49,204	28,069	4	106	224,348	156.0
12	1,305,396	-128	-763	P 49,762	P 28,402	2	132		
2016 (H28) 1	1,304,486		-186			5	356		
前月比 %	-0.1	-	-	1.1	1.2	150.0	169.7	4.1	-0.7
前年同月比%	-1.1	-	-	1.2	3.1	25.0	-44.1	-0.7	-0.3
資料出所	県統計分析課		日本銀行青森支店		東京商工リサーチ		県統計分析課		

※人口の年は1月1日、月は各1日現在、社会動態は年・月中の計数  
 ※実質預金は手形・小切手を除く、預貸金の年次計数は年度末残高

※日銀券の年次計数は年度累計  
 ※毎月勤労統計調査は事業所規模5人以上を対象

年次及び月	鉱工業 生産指数 (季調済) 2010年=100	新設住宅着工戸数			新設住宅 床面積 (千平米)	公共工事請負額		新規求人 倍率 (倍)	有効求人 倍率 (倍)
		総戸数 (戸)	うち持家 (戸)	うち貸家 (戸)		(百万円)	うち県分 (百万円)		
2009 (H21)	90.3	5,356	3,002	2,084	566	189,665	63,816	0.56	0.32
2010 (H22)	100.0	4,708	3,138	1,286	534	187,168	57,357	0.67	0.40
2011 (H23)	95.8	4,890	3,051	1,581	518	182,648	54,547	0.80	0.50
2012 (H24)	104.7	5,578	3,286	1,844	582	208,618	55,074	0.96	0.64
2013 (H25)	106.4	6,461	4,193	1,958	632	197,238	60,716	1.14	0.78
2014 (H26)	106.9	5,469	3,387	1,721	575	169,394	58,023	1.16	0.81
2014 (H26) 10	107.5	527	347	156	55	14,557	3,564	1.11	0.79
11	102.0	565	272	251	54	13,640	2,727	1.16	0.82
12	109.5	516	258	208	48	5,603	1,923	1.25	0.85
2015 (H27) 1	109.0	320	116	133	28	5,463	817	1.18	0.84
2	106.5	245	96	116	25	6,527	816	1.15	0.83
3	111.7	300	200	74	33	8,874	3,641	1.16	0.81
4	108.3	582	403	151	64	19,556	5,357	1.31	0.87
5	108.6	447	306	116	49	10,789	3,536	1.36	0.94
6	105.4	523	353	138	57	17,456	7,541	1.31	0.93
7	106.4	608	368	180	64	21,592	7,718	1.20	0.94
8	107.0	459	296	133	49	17,562	6,120	1.32	0.95
9	105.7	693	392	249	71	17,298	8,906	1.33	0.96
10	108.2	502	301	135	53	19,106	7,222	1.27	0.97
11	P 105.7	466	270	144	45	7,657	2,385	1.31	0.98
12		541	235	251	47	5,892	2,673	1.39	0.97
前月比%	-2.3	16.1	-13.0	74.3	4.6	-23.1	12.1	-0.08ポイント	-0.01ポイント
前年同月比%	4.7	4.8	-8.9	20.7	-2.0	5.2	39.0	0.14ポイント	0.12ポイント
資料出所	県統計分析課	県建築住宅課			東日本建設業保証		青森労働局		

※鉱工業生産指数の年次計数および前年同月比は原指数による  
 ※公共工事請負額の年次の欄は年度計数

※求人倍率の年次の欄は原数値の年度計数

## 青森県の主要経済指標・各種統計 2

年次及び月	百貨店・スーパー販売額(百万円)	新車登録台数(台)	乗用車登録届出台数(台)	消費者物価指数 2010年=100 (青森市)	勤労者世帯家計消費支出額(青森市)(円)	雇用保険		青森県景気ウォッチャー調査(現状判断DI)	おおぎんBSI
						受給人員(人)	受給金額(百万円)		
2009(H21)	165,738	26,929	41,192	100.3	302,596	-	19,497	-	-
2010(H22)	170,306	29,949	42,970	100.0	270,767	-	14,886	-	-
2011(H23)	175,736	26,512	38,137	100.1	287,873	-	14,439	-	-
2012(H24)	181,246	33,496	49,397	99.3	274,133	-	13,070	-	-
2013(H25)	179,920	31,442	49,982	99.6	267,928	-	12,291	-	-
2014(H26)	177,667	31,736	52,046	103.0	259,815	-	11,408	-	-
2014(H26) 10	13,856	2,395	3,625	103.9	243,461	6,719	792	43.9	} -7.8
11	14,465	2,375	3,836	103.2	234,406	6,116	636	-	
12	18,323	1,662	3,980	103.2	285,101	6,807	711	-	
2015(H27) 1	14,553	2,150	3,374	103.3	272,977	11,045	1,717	39.8	} -19.2
2	13,005	2,545	3,984	102.5	240,985	9,131	1,217	-	
3	15,106	4,065	6,526	103.1	283,906	7,176	877	-	
4	13,756	2,570	3,578	103.2	270,812	6,870	855	50.5	} -2.2
5	14,743	2,053	3,044	103.2	242,091	7,384	862	-	
6	13,942	2,556	3,735	103.1	211,436	7,583	848	-	
7	14,111	3,034	4,056	103.4	237,365	7,550	888	53.3	} 5.1
8	15,437	1,958	2,767	103.4	267,869	7,559	807	-	
9	12,845	2,913	4,244	103.7	224,094	7,020	814	-	
10	13,663	2,486	3,283	103.4	264,004	6,288	689	49.3	} 12.0
11	13,357	2,301	3,240	103.1	262,354	5,984	607	-	
12	P 18,006	2,049	2,746	102.9	284,982	6,654	716	-	
前月(期)比%	-	-11.0	-15.2	-0.2	8.6	11.2	18.0	-4.0ホ* イト	6.9ホ* イト
前年同月(期)比%	1.6	23.3	-31.0	-0.3	0.0	-2.2	0.7	-	-
資料出所	東北経産局	自販協連合会青森県支部	県統計分析課	総務省	青森労働局	県統計分析課	青森銀行		

※百貨店・スーパー販売額(2015.7 大型小売店販売額を名称変更)の前年同月比は既存店ベース増減率

※雇用保険の年次の値は年度計数

年次及び月	りんご			漁業 (八戸港水揚高)		貿易 (青森港)		貿易 (八戸港)	
	出荷量(ト)	市場価格(円/Kg)	産地価格(円/Kg)	数量(ト)	金額(百万円)	輸出(百万円)	輸入(百万円)	輸出(百万円)	輸入(百万円)
2009(H21)	288,061	257	144	139,275	21,694	9,692	19,402	113,721	105,780
2010(H22)	297,566	261	168	119,470	23,405	9,244	24,003	151,688	118,867
2011(H23)	215,428	364	214	121,511	21,044	9,178	29,937	111,720	103,081
2012(H24)	274,892	263	164	112,395	18,670	6,785	29,059	107,146	122,288
2013(H25)	255,696	317	191	97,591	19,672	7,651	35,866	122,070	141,664
2014(H26)	296,117	319	180	120,530	22,969	7,733	34,824	132,609	177,830
2014(H26) 10	27,950	237	210	26,344	4,297	695	1,750	12,937	16,448
11	25,302	275	174	22,175	4,374	589	1,453	8,463	11,690
12	27,055	304	149	7,914	1,794	625	4,496	11,667	10,914
2015(H27) 1	36,964	287	156	2,169	736	593	2,258	14,281	19,335
2	37,926	286	182	1,816	648	337	2,890	9,245	9,440
3	37,801	295	205	3,020	1,041	548	1,463	11,700	11,901
4	31,672	334	292	1,180	485	558	2,651	8,238	19,151
5	21,934	403	-	797	228	611	1,868	12,407	12,624
6	13,480	447	-	2,839	748	589	3,130	11,812	14,205
7	9,465	521	-	10,640	1,409	746	914	10,388	16,376
8	2,490	523	-	9,654	1,986	488	1,518	12,935	14,644
9	26,192	258	156	16,410	3,010	400	1,117	8,953	31,328
10	26,121	280	247	25,200	3,494	476	2,095	12,160	11,829
11	24,205	289	205	30,676	3,966	241	2,558	12,884	16,806
12	28,792	332	188	8,958	1,947	326	2,551	4,391	14,633
前月比%	19.0	14.9	-8.3	-70.8	-50.9	35.3	-0.3	-65.9	-12.9
前年同月比%	6.4	9.2	26.2	13.2	8.5	-47.8	-43.3	-62.4	34.1
資料出所	県りんご果樹課			八戸市水産事務所		函館税関、青森支署・八戸支署			

※りんご年次欄はりんご年度の計数



### 青森県の主要経済指標・各種統計 3

年次及び月	青森県の気象(青森地方気象台)			パスポート 発行件数
	気温 (°C)	降水量(ml)	日照時間(h)	(件)
2014 (H26)	10.7	1,483.5	1,735.0	13,560
2014 (H26) 11	8.1	63.5	102.2	872
12	0.0	238.5	25.5	1,057
2015 (H27) 1	-0.2	133.5	43.0	1,395
2	1.2	45.0	96.4	971
3	4.6	56.5	141.0	1,273
4	9.9	81.0	189.8	858
5	15.1	69.5	255.0	883
6	18.1	57.5	208.0	982
7	22.8	65.0	179.3	1,075
8	23.6	72.0	184.6	1,501
9	19.4	65.0	153.4	1,036
10	12.2	76.5	147.6	1,016
11	8.4	147.5	88.5	1,266
12	3.1	134.5	51.1	1,045
前月比 %	-5.3°C	-13.0ml	-37.4h	-17.5
前年同月比%	3.1°C	104.0ml	25.6h	-1.1
資料出所	気象庁			外務省

### ☆県内主要都市・地区各種指標

年次及び月	地区別業況BSI		
	青森地区	津軽地区	県南地区
2014 (H26)			
1~3月	9.8	5.7	6.3
4~6月	-13.6	-15.0	-10.5
7~9月	4.7	-24.2	-15.4
10~12月	5.4	-20.0	-10.2
2015 (H27)			
1~3月	-31.7	-7.3	-14.3
4~6月	-7.0	6.1	-3.2
7~9月	6.1	15.1	-2.5
10~12月	15.0	12.9	8.4
2016 (H28)			
1~3月	-7.7	-9.8	-8.5
資料出所	青森銀行BSI(16.1~3月期は見直し)		

年次及び月	推計人口 (人)			新車(登録車)販売台数(台) (大型特殊車除く)			新設住宅着工戸数 (戸)		
	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市
2014 (H26) 11	290,555	178,209	232,858	559	309	495	182	88	92
12	290,452	178,162	232,781	401	189	321	177	56	114
2015 (H27) 1	290,251	178,098	232,634	478	255	474	52	44	114
2	289,946	177,945	232,506	604	334	522	40	98	67
3	289,723	177,715	232,398	1,060	511	728	75	39	74
4	288,212	176,524	231,490	576	238	643	156	70	152
5	288,791	176,923	231,554	494	216	463	103	63	122
6	288,639	176,865	231,485	594	368	525	158	92	98
7	288,408	176,721	231,472	862	314	689	155	72	158
8	288,275	176,726	231,385	446	233	436	125	77	110
9	288,029	176,590	231,337	702	333	605	219	78	165
10	287,881	176,567	231,243	609	260	507	107	74	96
11	287,709	176,521	231,168	516	276	509	78	56	122
12	287,528	176,465	231,072	483	260	431	110	108	117
2016 (H28) 1	287,419	176,401	230,962						
前月比 %	-0.0	-0.0	-0.0	-6.4	-5.8	-15.3	41.0	92.9	-4.1
前年同月比%	-1.0	-1.0	-0.7	20.4	37.6	34.3	-37.9	92.9	2.6
資料出所	青森県統計分析課			自販協連合会青森県支部			青森県建築住宅課		

年次及び月	有効求人倍率 職業安定所別			企業倒産					
				青森市		弘前市		八戸市	
	青森	弘前	八戸	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)
2014 (H26) 11	0.77	0.69	0.97	2	40	0	0	1	450
12	0.64	0.54	0.83	1	34	1	11	1	14
2015 (H27) 1	0.59	0.48	0.76	4	637	0	0	0	0
2	0.76	0.58	0.83	3	1,833	0	0	0	0
3	0.82	0.64	0.86	1	821	1	250	1	300
4	0.78	0.62	0.81	1	37	1	45	1	16
5	0.85	0.63	0.81	4	144	0	0	1	43
6	0.89	0.61	0.85	0	0	0	0	0	0
7	0.93	0.60	0.90	1	26	0	0	0	0
8	0.97	0.74	1.00	0	0	1	85	1	100
9	1.06	0.88	1.07	1	43	0	0	1	148
10	1.00	0.95	1.02	3	193	2	200	1	28
11	0.99	0.89	1.01	0	0	1	15	0	0
12	0.79	0.59	0.87	0	0	1	35	0	0
2016 (H28) 1				2	73	1	27	0	0
前月比 %	-0.20 ポイント	-0.30 ポイント	-0.14 ポイント	-	-	0.0	-22.9	-	-
前年同月比%	0.15 ポイント	0.05 ポイント	0.04 ポイント	-50.0	-88.5	-	-	-	-
資料出所	青森労働局			東京商工リサーチ青森支店					

※有効求人倍率は原数値による